



⑥ 保健体育問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「保健体育」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から60までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

（マークシート記入例）

フリガナ	コウベ タロウ
名前	神戸 太郎

教科名	保健体育
-----	------

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答		
	1 - 25											26 - 50												51	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（*は、中学校・特別支援学校中学部）

- ① 学校における道徳教育は、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。
- ② 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的、発展的な指導を行うことが重要である。
- ③ 学校における道徳教育は、児童（*生徒）の発達段階を踏まえて行われなければならない。
- ④ 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ⑤ 各教科は、各活動における道徳教育の要として、それらを補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させたり統合させたりする役割を果たす。

(2)「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)における評価に関する記述のうち、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。(※は、中学校・特別支援学校 中学部)

- ① 道徳性の評価の基盤には、教師と児童(※生徒)との人格的な触れ合いによる共感的な理解が存在することが重要である。その上で、児童(※生徒)の成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、児童(※生徒)が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すことが求められる。
- ② 道徳科で養う道徳性は、児童(※生徒)が将来いかに人間としてよりよく生きるか、いかに諸問題に適切に対応するかといった個人の問題に関わるものである。このことから、小学校(※中学校)の段階でどれだけ道徳的価値を理解したかなどの基準を設定することがふさわしい。
- ③ 道徳性は、極めて多様な児童(※生徒)の人格全体に関わるものであることから、評価に当たっては、個人内の成長の過程を重視すべきではない。
- ④ 道徳性の諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を通じて見取ろうとすることは、児童(※生徒)の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価として妥当である。
- ⑤ 道徳科の評価は、選抜に当たり客観性・公平性が求められる入学者選抜とはなじまないものであり、このため、道徳科の評価は調査書には記載してもよいが、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにする必要がある。

(3)「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)「第3章 道徳科の内容」では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を、四つの視点から分類整理している。次の四つの視点A～Dと内容項目ア、イの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

四つの視点

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

内容項目

- ア 友情、信頼
- イ よりよく生きる喜び

- ① アーA イーB
- ② アーB イーA
- ③ アーB イーD
- ④ アーC イーA
- ⑤ アーC イーD

【2】「中学校学習指導要領解説 保健体育編」（平成29年7月 文部科学省）に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「保健体育科改訂の要点」に関する記述の一部である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

「体ほぐしの運動」において、第1学年及び第2学年では、「心と体の関係に気付き、体の調子を整え、仲間と交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと」を改め、「手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に（ア）」とした。第3学年では、「心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと」を改め、「手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と（イ）に（ア）」を内容として示した。

また、従前、「体力を高める運動」として示していたものを、第1学年及び第2学年で「体の動きを高める運動」、第3学年で「（ウ）」として新たに示した。

- | | | | |
|---|-------------|---------|-------------------|
| ① | (ア) 関わり合うこと | (イ) 自主的 | (ウ) 実生活に生かす運動の計画 |
| ② | (ア) 触れ合うこと | (イ) 自主的 | (ウ) 実生活に生かす運動の計画 |
| ③ | (ア) 関わり合うこと | (イ) 主体的 | (ウ) 実生活に生かす運動の計画 |
| ④ | (ア) 触れ合うこと | (イ) 主体的 | (ウ) 学校生活に生かす運動の計画 |
| ⑤ | (ア) 関わり合うこと | (イ) 自主的 | (ウ) 学校生活に生かす運動の計画 |

4

(2) 次の文は、「保健体育科改訂の要点」に関する記述の一部である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体力の向上については、「体づくり運動」及び「体育理論」の指導内容を明確にし、一層の充実が図られるよう改善した。また、その他の領域においても、それぞれの運動の（ア）に触れるために必要となる体力を生徒自らが高められるよう留意することとし、第1学年及び第2学年では「その（イ）」、第3学年では「（ウ）」を内容の「(1) 知識及び技能」に示した。

- | | | | |
|---|-----------|---------------------|--------------|
| ① | (ア) 特性や魅力 | (イ) 技能を高めることで身に付く体力 | (ウ) 体力の高め方 |
| ② | (ア) 方法や歴史 | (イ) 技能を高めることで身に付く体力 | (ウ) 体力の高め方 |
| ③ | (ア) 方法や歴史 | (イ) 技能を高めることで身に付く体力 | (ウ) 体力づくりの方法 |
| ④ | (ア) 特性や魅力 | (イ) 運動に関連して高まる体力 | (ウ) 体力の高め方 |
| ⑤ | (ア) 特性や魅力 | (イ) 運動に関連して高まる体力 | (ウ) 体力づくりの方法 |

5

- (3) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

保健体育科の指導計画は、単に1教科としての観点からだけでなく、(ア)のほか、総合的な学習の時間や運動部の活動なども含めた学校教育活動全体との関連を十分考慮して作成することが必要である。

体力の向上や健康の保持増進を図るための教育活動は、教科としての保健体育科は当然であるが、関連の教科、(ア)、総合的な学習の時間、運動部の活動などの学校教育活動の中にも、それぞれ(イ)をもちながら、関連する活動が多く含まれている。したがって、保健体育科の学習の成果が、他の教育活動と結び付き、日常生活で生かされるようにするためには、(ア)などとの(ウ)な関連を区って、保健体育科の目標がより効果的に達成できるよう指導計画を作成することが必要である。

- | | | |
|-------------|-----------|---------|
| ① (ア) 給食の時間 | (イ) 独自の性格 | (ウ) 有機的 |
| ② (ア) 特別活動 | (イ) 独自の性格 | (ウ) 有機的 |
| ③ (ア) 特別活動 | (イ) 独自の性格 | (ウ) 計画的 |
| ④ (ア) 特別活動 | (イ) 独自の特徴 | (ウ) 計画的 |
| ⑤ (ア) 給食の時間 | (イ) 独自の特徴 | (ウ) 有機的 |

- (4) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する共生の視点に基づいた障害のある生徒などについての配慮の列の記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・試合や記録測定、発表などの状況の変化への対応が求められる学習活動への参加が難しい場合には、生徒の実情に応じて状況の変化に対応できるようにするために、挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮したり、ルールの弾力化や場面設定の(ア)を図ったりするなどの配慮をする。

・日常生活とは異なる環境での活動が難しい場合には、不安を解消できるよう、学習の順序や具体的な内容を(イ)に説明するなどの配慮をする。

・対人関係への不安が強く、他者の体に直接触れることが難しい場合には、仲間とともに活動することができるよう、(ウ)などの補助用具を用いるなどの配慮をする。

- ① (ア) 自動化 (イ) 段階的 (ウ) ロープやタオル
 ② (ア) 簡略化 (イ) 段階的 (ウ) 手袋
 ③ (ア) 自動化 (イ) 詳細 (ウ) ロープやタオル
 ④ (ア) 簡略化 (イ) 詳細 (ウ) 手袋
 ⑤ (ア) 簡略化 (イ) 段階的 (ウ) ロープやタオル

- (5) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する運動の多様な楽しみ方を共有することができるようにするための留意事項についての記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体力や技能の程度及び性別の違い等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会であることから、原則として(ア)で学習を行うことが求められる。その際、心身ともに発達が著しい時期であることを踏まえ、運動種目によってはペアやグループの(イ)時に配慮したり、健康・安全に関する指導の充実を図ったりするなど、(ウ)の工夫を図ることが大切である。

- ① (ア) 男女混合 (イ) 決定 (ウ) 指導計画
 ② (ア) 男女共習 (イ) 編成 (ウ) 指導方法
 ③ (ア) 男女混合 (イ) 編成 (ウ) 指導計画
 ④ (ア) 男女共習 (イ) 決定 (ウ) 指導方法
 ⑤ (ア) 男女混合 (イ) 決定 (ウ) 指導方法

- (6) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する保健分野の学年別授業時数についての記述の一部である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

保健分野の学年別の授業時数の配当については、3学年間を通して適切に配当するとともに、生徒の興味・関心や意欲などを高めながら効果的に学習を進めるため、学習時間を(ア)又は集中的に設定することが望ましいことを示している。特に今回の改訂によって、「(1)(イ)」の内容が第1学年から第3学年にわたって指導することとし、「(2)(ウ)」、「(3)傷害の防止」、「(4)健康と環境」の内容を指導する学年がそれぞれ指定されていることから、各学年おおよそ均等な時間を配当できるようになっている。ただし、課題学習においては、(エ)あるいは調べる活動の時間を十分確保するために、次の授業時間との間にゆとりを持たせるなどの工夫をすることも効果的であると考えられる。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① (ア) 継続的 | (イ) 健康な生活と疾病の予防 |
| (ウ) 心身の機能の発達と心の健康 | (エ) 自力解決 |
| ② (ア) 断続的 | (イ) 心身の機能の発達と心の健康 |
| (ウ) 健康な生活と疾病の予防 | (エ) 課題追究 |
| ③ (ア) 断続的 | (イ) 健康な生活と疾病の予防 |
| (ウ) 心身の機能の発達と心の健康 | (エ) 自力解決 |
| ④ (ア) 継続的 | (イ) 健康な生活と疾病の予防 |
| (ウ) 心身の機能の発達と心の健康 | (エ) 課題追究 |
| ⑤ (ア) 継続的 | (イ) 心身の機能の発達と心の健康 |
| (ウ) 健康な生活と疾病の予防 | (エ) 自力解決 |

(7) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する学習内容を確実に身に付けるための指導の充実についての記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、社会をよりよく生きる資質・能力を育成する観点から、学校や生徒の実態に応じた個に応じた指導を推進する必要がある。その際、生徒一人一人が学習内容を確実に身に付ける観点から、学習内容の習熟の程度に応じた指導、個別指導との連携を踏まえた教師間の(ア)な指導などの指導方法や指導体制の工夫改善を通じて、個に応じた指導の充実が図られるよう留意することが重要である。

体育分野においては、個に応じた(イ)な練習方法の例を示したり、個別学習やグループ別学習、(ウ)などの学習活動を取り入れたりするなどにより、生徒一人一人が学習内容を確実に身に付けることができるよう配慮することが大切である。

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| ① (ア) 協力的 | (イ) 段階的 | (ウ) 反転学習 |
| ② (ア) 協力的 | (イ) 継続的 | (ウ) 繰り返し学習 |
| ③ (ア) 統一的 | (イ) 継続的 | (ウ) 反転学習 |
| ④ (ア) 協力的 | (イ) 段階的 | (ウ) 繰り返し学習 |
| ⑤ (ア) 統一的 | (イ) 段階的 | (ウ) 繰り返し学習 |

- (8) 次の文は、「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する体育分野と保健分野の関連についての記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育分野と保健分野の関連を図る工夫の例としては、次のようなものが考えられる。

- ・体育分野の「A体づくり運動」のア「体ほぐしの運動」では具体的な運動の視点から、保健分野の(2)「心身の機能の発達と心の健康」のア(イ)「(ア)」では欲求やストレスへの適切な対処の視点から、それぞれ取り上げているので、この点を十分考慮して関連のある指導を工夫する。

(略)

- ・体育分野の「A体づくり運動」から「Gダンス」の(3)学びに向かう力、人間性等の「(イ)」では運動実践の場面で行動化する視点から、保健分野の(i)「健康な生活と疾病の予防」では生活習慣と健康の中で(ウ)の視点から、それぞれ取り上げているので、この点を十分考慮して関連のある指導を工夫する。

- | | | |
|---------------------------|-----------|-----------|
| ① (ア) 欲求やストレスへの対処と心の健康 | (イ) 健康・安全 | (ウ) 運動の効果 |
| ② (ア) 欲求不満や適応機制への対処と心身の健康 | (イ) 健康・安全 | (ウ) 体力の向上 |
| ③ (ア) 欲求やストレスへの対処と心の健康 | (イ) 健康・安全 | (ウ) 体力の向上 |
| ④ (ア) 欲求不満や適応機制への対処と心身の健康 | (イ) 公正・公平 | (ウ) 体力の向上 |
| ⑤ (ア) 欲求やストレスへの対処と心の健康 | (イ) 公正・公平 | (ウ) 運動の効果 |

(9) 次の文は、「総説」に関する改善の具体的事項の記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識し、運動やスポーツの(ア)につなげる観点から、体づくり運動の内容等について改善を図る。

・スポーツの(イ)等の理解につながるよう、内容等について改善を図る。特に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす成果を次世代に引き継いでいく観点から、知識に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの(イ)等の内容等について改善を図る。

・グローバル化する社会の中で、我が国固有の(ウ)への理解を深める観点から、日本固有の武道の考え方に触れることができるよう、内容等について一層の改善を図る。」としている。

- | | | | |
|---|---------|-----------|-----------|
| ① | (ア) 習慣化 | (イ) 意義や価値 | (ウ) 文化の継承 |
| ② | (ア) 習慣化 | (イ) 意義や価値 | (ウ) 伝統と文化 |
| ③ | (ア) 日常化 | (イ) 意義や価値 | (ウ) 文化の継承 |
| ④ | (ア) 習慣化 | (イ) 役割や歴史 | (ウ) 伝統と文化 |
| ⑤ | (ア) 日常化 | (イ) 役割や歴史 | (ウ) 文化の継承 |

【3】「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

単元など内容や時間の(ア)を見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の(イ)を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、(ウ)な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを深く味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

- ① (ア) まとまり (イ) 関連性 (ウ) 断続的
- ② (ア) 配分 (イ) 見方・考え方 (ウ) 計画的
- ③ (ア) まとまり (イ) 関連性 (ウ) 計画的
- ④ (ア) まとまり (イ) 見方・考え方 (ウ) 計画的
- ⑤ (ア) 配分 (イ) 見方・考え方 (ウ) 断続的

13

(2) 次の文は、中学校との関連による、単位数の配当に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

各年次の単位数は、各学校の判断によって各年次に(ア)単位を配当することとなるが、学校や生徒の実態等に応じ、標準単位数を7単位とするのか8単位とするのかについては、各学校における教育課程編成の方針を踏まえつつ十分に検討する必要がある。いずれの場合においても、必要がある場合は、入学年次に(イ)単位を配当するなどの工夫も考えられる。また、各年次の単元計画を検討する際に、(ウ)の違いなどの生徒の実態を把握するための機会や、それまでの学習内容を復習する機会を一定時間確保した上で必修科目の内容を学習させたり、関連する中学校の内容を適宜取り入れた指導をしたりするなどの工夫をすることも大切である。

- ① (ア) 2～3 (イ) 3 (ウ) 種目選択
- ② (ア) 2～4 (イ) 2 (ウ) 種目選択
- ③ (ア) 2～4 (イ) 4 (ウ) 種目選択
- ④ (ア) 2～3 (イ) 2 (ウ) 学習経験
- ⑤ (ア) 2～3 (イ) 3 (ウ) 学習経験

14

- (3) 次の文は、思考力、判断力、表現力等に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

高等学校においては、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに(ア)で関わるができるようにするため、各領域で学習した内容を、他の運動にも適用することが求められることから、「する、みる、支える、知る」の視点から(イ)の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるよう知識を活用したり、応用したりして、思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や動作などで即座に表したり、図や文章及び映像等を用いて(ウ)伝えたりすることを示している。

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| ① (ア) 積極的な姿勢 | (イ) 自己や仲間 | (ウ) わかりやすく |
| ② (ア) 多様な形 | (イ) グループ内 | (ウ) わかりやすく |
| ③ (ア) 多様な形 | (イ) 自己や仲間 | (ウ) 筋道を立てて |
| ④ (ア) 多様な形 | (イ) 自己や仲間 | (ウ) わかりやすく |
| ⑤ (ア) 積極的な姿勢 | (イ) グループ内 | (ウ) 筋道を立てて |

15

- (4) 次の文は、障害のある生徒などへの指導に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

障害者の権利に関する条約に掲げられた(ア)教育システムの構築を目指し、生徒の自立と社会参加を一層推進していくためには、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校において、生徒の十分な学びを確保し、一人一人の生徒の障害の状態や発達段階に応じた指導や支援を一層充実させていく必要がある。

通常の学級においても、発達障害を含む障害のある生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の(イ)に応じたきめ細かな指導や支援ができるよう、(ウ)の指導の工夫のみならず、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要である。

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| ① (ア) アダプテッド | (イ) 教育的欲求 | (ウ) 障害種別 |
| ② (ア) インクルーシブ | (イ) 教育的ニーズ | (ウ) 障害種別 |
| ③ (ア) インクルーシブ | (イ) 教育的ニーズ | (ウ) 段階別 |
| ④ (ア) アダプテッド | (イ) 教育的ニーズ | (ウ) 障害種別 |
| ⑤ (ア) インクルーシブ | (イ) 教育的欲求 | (ウ) 段階別 |

16

【4】保健分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における「保健分野の精神疾患の特徴」に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、(ア)、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。

また、うつ病、(イ)、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解できるようにする。

その際、アルコール、薬物などの物質への依存症に加えて、(ウ)等への過剰な参加は習慣化すると嗜癖行動になる危険性があり、日常生活にも悪影響を及ぼすことに触れるようにする。

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| ① (ア) 情動 | (イ) 統合失調症 | (ウ) ギャンブル |
| ② (ア) 情動 | (イ) 気分障害 | (ウ) 仮想通貨取引 |
| ③ (ア) 感情 | (イ) 統合失調症 | (ウ) 仮想通貨取引 |
| ④ (ア) 情動 | (イ) 気分障害 | (ウ) ギャンブル |
| ⑤ (ア) 感情 | (イ) 気分障害 | (ウ) 仮想通貨取引 |

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育篇」(平成30年7月 文部科学省)における生活習慣病などの予防と回復に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法(抗がん剤など)、(ア)などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや(イ)が重要であることについて適宜触れるようにする。

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、(ウ)やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

- ① (ア) PRP療法 (イ) 心理的ケア (ウ) 予防接種
 ② (ア) 放射線療法 (イ) 心理的ケア (ウ) 予防接種
 ③ (ア) PRP療法 (イ) 心理的ケア (ウ) 健康診断
 ④ (ア) 放射線療法 (イ) 緩和ケア (ウ) 健康診断
 ⑤ (ア) 放射線療法 (イ) 緩和ケア (ウ) 予防接種

18

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における健康を守る社会の取組に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

健康の保持増進や疾病の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに、社会の取組が有効であることを理解できるようにする。社会の取組としては、地域には保健所、(ア)などがあり、個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることを理解できるようにする。

また、心身の状態が不調である場合は、できるだけ早く医療機関で受診することが重要であることを理解できるようにする。さらに、医薬品には、(イ)があること及び、使用回数、(ウ)、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。

- ① (ア) 福祉センター (イ) 主作用と副作用 (ウ) 使用時間
 ② (ア) 保健センター (イ) 主効果と副効果 (ウ) 使用時間
 ③ (ア) 保健センター (イ) 主作用と副作用 (ウ) 使用時間
 ④ (ア) 保健センター (イ) 主効果と副効果 (ウ) 使用間隔
 ⑤ (ア) 福祉センター (イ) 主効果と副効果 (ウ) 使用間隔

19

- (4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における指導方法の工夫に関する記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

指導に当たっては、生徒の内容への興味・関心を高めたり、思考を深めたりする(ア)を工夫すること、自他の日常生活に関連が深い教材・教具を活用すること、事例などを用いたデイスカッション、(イ)、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること、また、必要に応じてコンピュータ等を活用すること、学校や地域の実情に応じて、保健・医療機関等の(ウ)を推進すること、必要に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員などとの連携・協力を推進することなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮すること。

- ① (ア) 発問 (イ) ロールプレイング (ウ) 協力
 ② (ア) 課題 (イ) ロールプレイング (ウ) 参画
 ③ (ア) 課題 (イ) プレインストーミング (ウ) 協力
 ④ (ア) 発問 (イ) プレインストーミング (ウ) 参画
 ⑤ (ア) 発問 (イ) プレインストーミング (ウ) 協力

20

- (5) 次の文は、リラクセーションの方法である、漸進的筋弛緩法について説明した文である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

筋肉の緊張と弛緩(緩めること)を繰り返し行うことで、リラックスすることができる。各部位の筋肉について意識しながら、10秒間ほど力を入れて緊張させたあと、15秒ほど時間をかけて脱力・弛緩することを繰り返す。背中であれば、腕を外に広げ、(ア)を引き付ける。肩であれば、首を(イ)ようにして肩を上げる。腹部であれば、腹部に手を当て、その手を(ウ)ようにする。

- ① (ア) 上腕 (イ) 曲げる (ウ) 感じる
 ② (ア) 肩甲骨 (イ) すぼめる (ウ) 押し返す
 ③ (ア) 肩甲骨 (イ) すぼめる (ウ) 感じる
 ④ (ア) 上腕 (イ) すぼめる (ウ) 押し返す
 ⑤ (ア) 肩甲骨 (イ) 曲げる (ウ) 押し返す

21

(6) 次の文は、胸骨圧迫についての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

両肘を、a 伸ばしたまま、組んだ手をしっかり見て、垂直に体重をかける。指を組むと、基部にだけ力が加わるので、肋骨の骨折を防ぐことができる。傷病者が成人であれば、胸骨が、b 約 5 cm 沈むくらいまで押す。手を胸骨に置いたまま、力を緩める。これを 1 分間に、c 100～120 回の速さで行う。

- ① a ○ b ○ c ×
- ② a × b ○ c ○
- ③ a ○ b ○ c ○
- ④ a ○ b × c ×
- ⑤ a × b ○ c ×

22

(7) 次の文は、捻挫や打撲、肉離れ等で行う応急手当について説明したものである。説明文ア～エと、その処置 A～D の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア けがをしたら、すぐに運動をやめて、安静にし、動かすことによるけがの拡大を抑える。
- イ 患部を心臓より高く上げ、重力を利用して、内出血や腫れを抑える。
- ウ 冷却により、内出血や腫れを抑える。冷やしすぎて凍傷にならないように、まず伸縮包帯を何周か巻き付けてから、患部に氷のうを当てる。
- エ 圧迫により、内出血や腫れを抑える。しっかりと包帯を巻き付け、圧迫する。

[A : Elevation B : Compression C : Icing D : Rest]

- ① ア—A イ—D ウ—B エ—C
- ② ア—A イ—D ウ—C エ—B
- ③ ア—D イ—B ウ—A エ—C
- ④ ア—D イ—A ウ—B エ—C
- ⑤ ア—D イ—A ウ—C エ—B

23

- (8) 次の図は、熱中症の応急手当の流れを示したものである。その説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① 涼しい場所への避難では、衣服は緩めて寝かせる。
- ② 体の冷却では、ホースで水をかけてはいけない。
- ③ 体の冷却では、氷水に全身を漬ける。
- ④ 水分・塩分の補給では、スポーツドリンクや食塩水（塩分0.1～0.2%）を摂取させる。
- ⑤ 水分・塩分の補給では、熱けいれんの場合は生理食塩水（塩分0.9%）を摂取させる。

(9) 次のグラフは、がんによる死亡のうちの主な部位別割合である。グラフ中のア～エにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 胃 | イ | 肺 | ウ | 大腸 | エ | すい臓 |
| ② | ア | 肺 | イ | 胃 | ウ | 大腸 | エ | すい臓 |
| ③ | ア | 肺 | イ | 大腸 | ウ | すい臓 | エ | 大腸 |
| ④ | ア | 胃 | イ | 大腸 | ウ | すい臓 | エ | 肺 |
| ⑤ | ア | 肺 | イ | 大腸 | ウ | 胃 | エ | すい臓 |

- (10) 次の図は、学校内の各場所の様子である。それぞれの場所と、照度基準の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| ① | ア | 150ルクス | イ | 100ルクス | ウ | 300ルクス | エ | 500ルクス | オ | 200ルクス |
| ② | ア | 150ルクス | イ | 100ルクス | ウ | 200ルクス | エ | 500ルクス | オ | 300ルクス |
| ③ | ア | 100ルクス | イ | 150ルクス | ウ | 200ルクス | エ | 300ルクス | オ | 500ルクス |
| ④ | ア | 150ルクス | イ | 200ルクス | ウ | 100ルクス | エ | 300ルクス | オ | 500ルクス |
| ⑤ | ア | 100ルクス | イ | 200ルクス | ウ | 150ルクス | エ | 300ルクス | オ | 500ルクス |

- (11) 次の文は、生活習慣病についての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

生活習慣病は、運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発病や進行に深くかかわる病気の呼び名である。代表的なものに、結核と脳卒中があり、がんを含めて日本の死亡数の約半分を占めている。糖尿病や歯周病なども生活習慣病といわれている。ただし、それらの病気もすべてが生活習慣で起きるわけではなく、遺伝や環境などもかかわってくる。

- ① a ○ b ○ c ×
② a × b ○ c ○
③ a ○ b ○ c ○
④ a ○ b × c ×
⑤ a × b ○ c ×

27

- (12) 次の文は、飲料水についての記述である。文中の下線部の a～c の正誤の適切な組合せを①～③から選び、番号で答えよ。

人間は1日に、約25リットルの水を必要とする。体重の、5～6%の水分が体内から失われると脱水症状があらわれ始め、20%以上では死亡する危険性が高まる。生きるために不可欠な水が、病原体や有害物質に汚染されていると健康が損なわれる。そのため、飲料水には、水質基準が設けられており、基準を満たした衛生的な水しか飲めないことになっている。

- ① a ○ b ○ c ×
② a × b ○ c ○
③ a ○ b ○ c ○
④ a ○ b × c ○
⑤ a × b ○ c ×

28

- (13) 次の文は、自律神経のはたらきについての記述である。文中の下線部 a～d の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

自律神経には内臓などの活動を意識せずに調節する働きがあり、交感神経と副交感神経に分けられる。交感神経が活発になると、心拍数や呼吸数が、a 減少し、b 瞳孔が開く。一方で、胃腸などの消化器の働きは、c 活発になる。副交感神経が活発になると、心拍数や呼吸数が、d 増加し、脳は、e リラックスする。

- ① a × b × c × d ○
② a × b ○ c × d ×
③ a ○ b ○ c ○ d ○
④ a ○ b × c ○ d ×
⑤ a × b ○ c × d ○

29

- (14) 次の図は、病原体の侵入を防ぐ体のしくみを示したものである。その説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① 唾液は口内の細菌を退治する。
② 涙は眼球への感染を予防する。
③ 気管の細かい毛は、痰と一緒に病原体を押し出す。
④ 胃液は強力な酸で溶かし、腸へ侵入を防ぐ。
⑤ 汗と皮脂は、細菌が皮膚上で繁殖するのを防ぐ。

30

- (15) 次の図1～3は、喫煙が及ぼす影響に関するグラフである。その説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

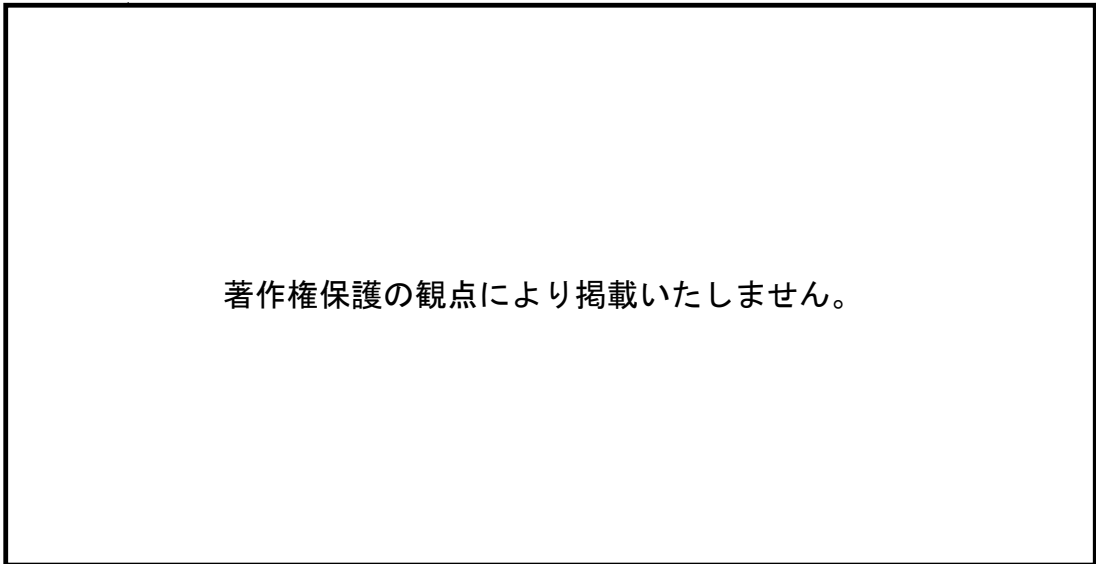
- ① 夫婦で夫が喫煙していると、妻は非喫煙者であっても肺がん死亡の危険度が高まる。
- ② 両親とも喫煙していると、乳幼児の突然死の危険度は、両親とも喫煙していないときの約5倍になる。
- ③ 喫煙開始年齢が早いほど、肺がん死亡の危険度が高まる。
- ④ 喫煙開始年齢がいくら遅くても、喫煙しない人よりは肺がん死亡の危険度が高まる。
- ⑤ 男性よりも女性のほうが、夫より妻のほうが肺がん死亡の危険度が高い。

- (16) 次の表は、性感染症の病名と特徴、症状を示したものである。表中のア～オにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- | | | |
|---|-----------------|-----------------|
| ① | ア 性器クラミジア感染症 | イ 淋菌感染症 |
| | ウ 性器ヘルペスウイルス感染症 | エ 梅毒 |
| | オ 尖圭コンジローマ | |
| ② | ア 淋菌感染症 | イ 性器クラミジア感染症 |
| | ウ 性器ヘルペスウイルス感染症 | エ 尖圭コンジローマ |
| | オ 梅毒 | |
| ③ | ア 性器クラミジア感染症 | イ 淋菌感染症 |
| | ウ 尖圭コンジローマ | エ 梅毒 |
| | オ 性器ヘルペスウイルス感染症 | |
| ④ | ア 性器クラミジア感染症 | イ 淋菌感染症 |
| | ウ 性器ヘルペスウイルス感染症 | エ 尖圭コンジローマ |
| | オ 梅毒 | |
| ⑤ | ア 淋菌感染症 | イ 性器ヘルペスウイルス感染症 |
| | ウ 性器クラミジア感染症 | エ 尖圭コンジローマ |
| | オ 梅毒 | |

(17) 次のグラフは、中学生（13～15歳）の自転車事故の原因（上位7種、2019年）について示したものである。グラフ中のア～オにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- | | | | |
|---|-------------|-------------|---------|
| ① | ア 一時不停止 | イ 安全不確認 | ウ 前方不注意 |
| | エ 信号無視 | オ 交差点進行義務違反 | |
| ② | ア 一時不停止 | イ 安全不確認 | ウ 前方不注意 |
| | エ 交差点進行義務違反 | オ 信号無視 | |
| ③ | ア 一時不停止 | イ 前方不注意 | ウ 安全不確認 |
| | エ 交差点進行義務違反 | オ 信号無視 | |
| ④ | ア 安全不確認 | イ 一時不停止 | ウ 前方不注意 |
| | エ 交差点進行義務違反 | オ 信号無視 | |
| ⑤ | ア 安全不確認 | イ 一時不停止 | ウ 信号無視 |
| | エ 交差点進行義務違反 | オ 前方不注意 | |

【5】 体育分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の体づくり運動の例示についての記述の一部である。体ほぐしの運動の行い方の例として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。
- ② リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。
- ③ 重い物を押したり、引いたり、投げたり、受けたり、振ったり、回したりすることを通して、気付いたり関わり合ったりすること。
- ④ いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。
- ⑤ 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。

34

(2) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の体づくり運動の実生活に生かす運動の計画の知識の例示についての記述の一部である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 体づくり運動には、多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことができること。
- ② 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があること。
- ③ 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うこと。
- ④ 運動を計画して行う際は、どのようなねらいをもつ運動か、偏りがないか、自分に合っているかなどの運動の原則があること。
- ⑤ 実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であること。

35

- (3) 次の表は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の器械運動(鉄棒運動)の主な技の例示である。表中のア～エにあてはまる技名の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- | | | |
|---|------------|---------------|
| ① | ア 前方支持回転 | イ 後ろ振り跳びひねり下り |
| | ウ 後方もも掛け回転 | エ 懸垂振動ひねり |
| ② | ア 前方支持回転 | イ 後方振り下り |
| | ウ 後方伸脚回転 | エ 振動懸垂ひねり |
| ③ | ア 前方連続支持回転 | イ 後方振り下り |
| | ウ 後方伸脚回転 | エ 懸垂振動ひねり |
| ④ | ア 前方支持回転 | イ 後ろ振り跳びひねり下り |
| | ウ 後方もも掛け回転 | エ 振動懸垂ひねり |
| ⑤ | ア 前方連続支持回転 | イ 後ろ振り跳びひねり下り |
| | ウ 後方もも掛け回転 | エ 振動懸垂ひねり |

- (4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の器械運動についての記述の一部である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・基本的な技とは、各種目の系の技の中で基本的な運動課題をもつ技を示している。平均台以外の種目では、小学校第5学年及び第6学年で学習される。技を含んでいる。
- ・滑らかに行うとは、その技に求められる動きが、途切れずに続けてできることである。
- ・条件を変えた技を行うとは、同じ技でも、開始姿勢や終末姿勢を変えて行う、その技の前や後に動きを組み合わせて行う、手の着き方や握りを変えて行うことなどを示している。

- ① a × b ○ c ○
- ② a ○ b × c ○
- ③ a × b × c ×
- ④ a ○ b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

37

- (5) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の陸上競技についての記述である。例示として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 短距離走のスタートダッシュでは、地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速すること。
- ② 長距離走では、呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。
- ③ ハードル走では、一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせること。
- ④ 走り幅跳びでは、踏み切りでは上体を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚を素早く引き上げること。
- ⑤ 走り高跳びでは、リズムカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り、はさみ跳びや背面跳びなどの空間動作で跳ぶこと。

38

(6) 次の表は、陸上競技の走り高跳びにおける記録を示したものである。順位の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

○：成功　×：失敗　—：パス

	115cm	120	125	130	135	140	145
A	—	×○	○	×○	—	××○	×××
B	○	○	○	×—	×○	××○	×××
C	○	○	×○	○	××○	××○	×××
D	○	—	—	××○	××○	×○	×××

- ① A 2位　B：1位　C：4位　D：2位
 ② A 4位　B：1位　C：3位　D：2位
 ③ A 2位　B：2位　C：4位　D：1位
 ④ A 3位　B：4位　C：2位　D：1位
 ⑤ A 2位　B：4位　C：2位　D：1位

39

(7) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の水泳の泳法についての記述の一部である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・クロールで速く泳ぐとは、一定の距離を、大きな推進力を得るための力強い手の動きと、安定した推進力を得るための力強い足の動き、ボビングを利用した呼吸動作で、速度を速めて泳ぐことである。
- ・平泳ぎで長く泳ぐとは、余分な力を抜いた、大きな推進力を得るための手の動きと安定した推進力を得るための足の動き、その動きに合わせた呼吸動作で、バランスを保ち泳ぐことである。
- ・背泳ぎでバランスをとり泳ぐとは、リラックスした背浮きの姿勢で、手と足の動作と、呼吸のタイミングを合わせて泳ぐことである。

- ① a ○　b ×　c ○
 ② a ×　b ○　c ○
 ③ a ×　b ×　c ×
 ④ a ○　b ○　c ○
 ⑤ a ×　b ○　c ×

40

(8) 次の文は、水泳のクロールの脚の動作と腕の動作に関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 左右の脚の幅は、親指が触れ合う程度にし、踵を10cm程度離す。
- ② けり始めは、親指を外向きにし、土踏まずを中心とした足の裏で水を左右後方に押し出し、膝が伸びきらないうちに両脚で水を押し込み、最後は両脚を揃えてける。
- ③ けり終わった後、上方に戻す動作は、脚を伸ばして太ももから上げるようにする。
- ④ 手先を水中に入れる場合、手のひらを斜め外向き（45°程度）にし、顔の前方、肩の線上に入れる。
- ⑤ 入水後、腕を伸ばし、手のひらを平らにして水を押さえ、水面下30cm程度まで押さえたら腕を曲げ、手のひらを後方に向けかき始める。

41

(9) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」（平成29年7月 文部科学省）における第3学年の球技についての記述の一部である。文中の下線部a～cの正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

第3学年では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすることが大切である。また、球技の学習に自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに参加することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにすることが大切である。

- ① a ○ b × c ○
- ② a × b ○ c ○
- ③ a ○ b ○ c ×
- ④ a ○ b × c ×
- ⑤ a × b ○ c ×

42

(10) 次の文は、バスケットボールのルールに関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① シュートのボールが空中のときに時限の終わりの合図があった場合、そのシュートが一連の動作の中で成功すれば得点として認められる。
- ② ボールがバスケットの下から入り完全に通過した場合は、バイオレーションになる。
- ③ シュート後のエンドラインからのスローインを除き、アウトからのスローインのときに、定められた位置からライン沿いに1m以上移動してスローインした場合はバイオレーションとなる。
- ④ スローインのボールを手離すのに5秒を超えた場合はバイオレーションとなる。
- ⑤ コート内でライブのボールをコントロールしたチームが、25秒以内にシュートできなかった場合はバイオレーションとなる。

43

(11) 次の図は、サッカー競技におけるオフサイドに関する場面設定である。適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

ア

イ

ウ

エ

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① オフサイド：ア | オフサイドではない：イ、ウ、エ |
| ② オフサイド：ア、イ | オフサイドではない：ウ、エ |
| ③ オフサイド：ア、ウ | オフサイドではない：イ、エ |
| ④ オフサイド：ア、イ、ウ、エ | オフサイドではない：なし |
| ⑤ オフサイド：なし | オフサイドではない：ア、イ、ウ、エ |

44

(12) 次の文は、ハンドボールの反則の内容である。反則の内容ア～エと、その名称A～Dの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

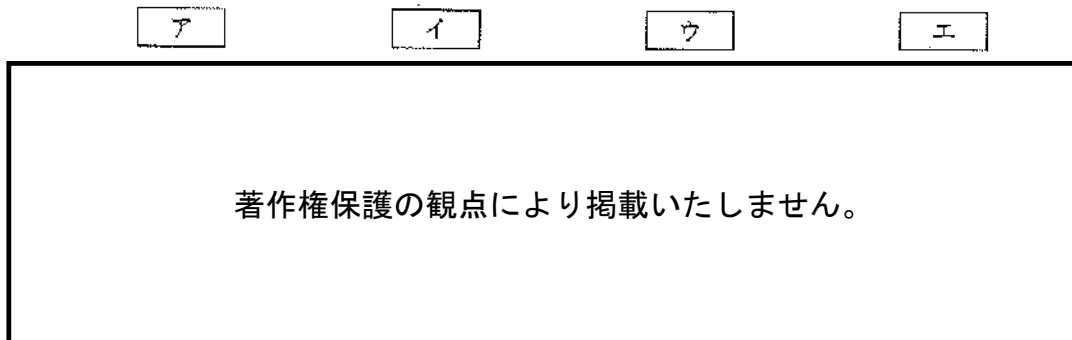
- ア 相手を手や体で押す
- イ 相手を抱えたり、つかんだりする
- ウ 相手の手や腕をたたく
- エ 相手に足をかける

(A トリッピング B ハッキング C ホールディング D プッシング)

- ① アーA イーB ウーC エーD
- ② アーD イーB ウーC エーA
- ③ アーD イーC ウーB エーA
- ④ アーD イーC ウーA エーB
- ⑤ アーA イーB ウーD エーC

45

(13) 次の図は、バレーボールの審判の合図である。審判の合図ア～エと、その名称A～Dの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



(A ボールアウト B タイムアウト C サブスティテューション D ダブルコンタクト)

- ① アーA イーB ウーC エーD
- ② アーD イーB ウーA エーC
- ③ アーD イーB ウーC エーA
- ④ アーD イーC ウーA エーB
- ⑤ アーA イーC ウーD エーB

46

- (14) 次の文は、卓球の成り立ちに関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

現在の卓球は、1980年代にイギリスのジェームス・ギップがセルロイド製ボールを使用したのが始まりであるといわれている。ボールを打つときの音から、1900年ごろは「ピンポン」と呼ばれた。1926年に国際卓球連盟が創設され、同年に第1回世界選手権大会が、パリで開催された。オリンピックには、1988年の、ソウル大会から正式種目として採用された。パラリンピックには、1960年の、アテネ大会から採用されている。

- ① a ○ b × c ○
② a × b ○ c ○
③ a × b × c ×
④ a ○ b ○ c ○
⑤ a × b ○ c ×

47

- (15) 次の文は、バドミントンのルールに関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① スコアが20点オールになったとき、自動的に2点差がつくまで延長ゲームを行う。
② シングルスでは、サービスは相手の対角コートに向かって打つ。
③ ダブルスでは、サービス側が連続して得点しているときは、同じサーバーがサービスコートを左右交互に代えてサービスする。
④ サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトルの一部がコート面から1.00mの高さよりも高かった場合はフォルトになる。
⑤ シングルスでは、サーバーの得点が0又は偶数のときは右側のサービスコートから、奇数のときは左側のサービスコートから打つ。

48

- (16) 次の文は、ソフトボールの投手の投球に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

投手は、投球前には両足か軸足をピッチャーズプレートに置く。次に、体の前または横でボールを両手に持ち、両腰は一塁と三塁を結んだ線に平行にして打者と正対し、5秒以上10秒以内、体全体を完全に静止する。そして、下投げで手と手首が、体側線を通過するように投げる。その際、自由足を前に踏み出すのと同時に投球をしなければならない。自由足を踏み出す範囲は、ピッチャーズプレートの、西端の前方の延長線内でなければならない。また、軸足は、前方へ引きずったり、跳んだりする前は、ピッチャーズプレートに触れていなければならない。

- ① a ○ b × c ○
 ② a × b ○ c ○
 ③ a × b × c ×
 ④ a ○ b ○ c ○
 ⑤ a × b ○ c ×

49

- (17) 次の文は、ソフトテニスのルールに関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ボールは各チームが交互に、いずれか1人のプレーヤーによって打たなければならない。
 ② 1ゲームは4ポイントを取った組が勝ちとなるが、3対3になった場合はデュースとなり、それ以後は2ポイント差をつけた組が勝ちとなる。
 ③ サービスは、ネットに向かってセンターマークの右側から始め、右左交互に対角線上の相手のサーブコートに打ち込む。
 ④ ボールがネットやネットポストに触れても、これらを越えて正しく相手のコートに入れば有効な返球となる。
 ⑤ ボールがネットポストの外側を回って相手コートに入ったり、ネットポストの外側に触れて相手コートに入ったりした場合は無効の返球となる。

50

- (18) 次の文は、柔道の礼法の考え方について説明した記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

柔道は直接相手と組み合せて投げたり抑えたりする格闘的な運動である。柔道の技能の向上には相手を尊重し敬意を表すこととともに、自らも謙虚で、**a**落ち着いたが求められる。したがって、技能指導においても、礼法に代表される伝統的な行動の仕方や、相手と協力する態度、**b**公正な態度、**c**健康・安全に留意する態度など、正しい所作とともに態度に関する指導を重視する。特に、礼法は形を守ることから指導を行い、次第にその意義を理解して大切にできるようにする。

- ① a ○ b × c ×
 ② a × b ○ c ○
 ③ a × b × c ×
 ④ a ○ b ○ c ○
 ⑤ a ○ b ○ c ×

51

- (19) 次の図は、剣道の竹刀の各部位の名称を示している。図中のア～エにあてはまる名称の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① ア 柄 イ つば ウ 弦 エ 中結
 ② ア つば イ 柄 ウ 中結 エ 弦
 ③ ア 弦 イ 中結 ウ 柄 エ つば
 ④ ア 中結 イ 弦 ウ つば エ 柄
 ⑤ ア 柄 イ つば ウ 中結 エ 弦

52

(20) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の現代的なリズムのダンスの例示についての記述である。例示として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ること。
- ② 軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたき、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ること。
- ③ シンクレーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊ること。
- ④ 短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる、ダイナミックなアクセントを加えるなどして、リズムに乗って続けて踊ること。
- ⑤ 進退動作では、相手の動きに応じたすり足、歩み足及び継ぎ足で、体の移動をすること。

53

(21) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年のダンスの知識及び技能についての記述の一部である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて(ア)に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。

フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて(イ)なステップや動きと組み方で踊ること。

現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、(ウ)を付けて、リズムに乗って全身で踊ること。

- ① (ア) 即興的 (イ) 形式的 (ウ) 変化とまとまり
- ② (ア) 即時的 (イ) 形式的 (ウ) 変化とまとまり
- ③ (ア) 即興的 (イ) 特徴的 (ウ) 変化とまとまり
- ④ (ア) 即時的 (イ) 特徴的 (ウ) ひと流れのまとまり
- ⑤ (ア) 即興的 (イ) 特徴的 (ウ) ひと流れのまとまり

54

【6】 体育理論に関する内容について次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の「体育理論」の「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の記述の一部である。文中の下線部a～cの正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (ア) 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの、リラックス効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。
- (イ) 運動やスポーツには、特有の成り立ちがあり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。
- (ウ) 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や、体格などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。

- ① a ○ b × c ×
② a × b ○ c ○
③ a × b × c ×
④ a ○ b ○ c ○
⑤ a × b ○ c ×

(2) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における「体育理論」の「豊かなスポーツライフの設計の仕方」の記述の一部である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (ア) スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、総合的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化すること。
- (イ) 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と余暇の競和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であること。
- (ウ) スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていること。

- ① a ○ b × c ×
② a × b × c ○
③ a × b × c ×
④ a ○ b ○ c ○
⑤ a × b ○ c ×

56

(3) 次は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における「体育理論」の内容の取扱いに示されている、各学年で配当すべき授業時間数である。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 2単位時間以上
② 3単位時間以上
③ 4単位時間以上
④ 5単位時間以上
⑤ 6単位時間以上

57

(4) 次の文は、パラリンピックの価値について説明しているものである。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 参画：合意形成に貢献しようとする力
- ② 勇気：マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力
- ③ 強い意志：困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力
- ④ インスピレーション：人の心を揺さぶり、駭り立てる力
- ⑤ 公平：多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

58

(5) 次の文は、オリンピックについて説明しているものである。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① a ○ b × c ×
- ② a × b × c ○
- ③ a ○ b ○ c ×
- ④ a ○ b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

59

(6) 次の文は、中学校第3学年の体育理論「文化としてのスポーツの意義」の授業後に生徒が書いた、振り返りシートの内容である。それに対して、保健体育教師としてアドバイスする内容として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① スポーツをすると、健康な心や体をつくることができますよ。
- ② スポーツを通して、様々な人とつながることができます。そして、人生を豊かにしてくれますよ。
- ③ スポーツをすると、ストレスを軽減することにも役立ちますよ。
- ④ スポーツをすることだけでなく、見て感動したり、スポーツに関する知識を得たりすることで、それまでもっていなかった考え方ができたり、目標をもつことができるようになりますよ。
- ⑤ スポーツをすると「スクレロスチン」というホルモンが脳から出るので、運動する習慣をつけたほうがいいですよ。